

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 三木市

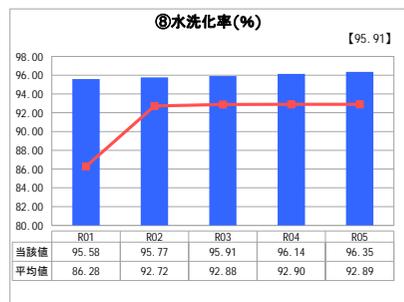
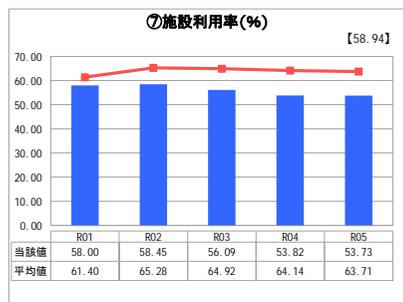
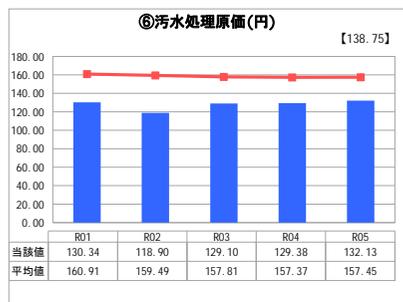
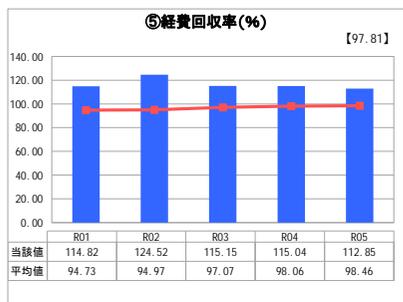
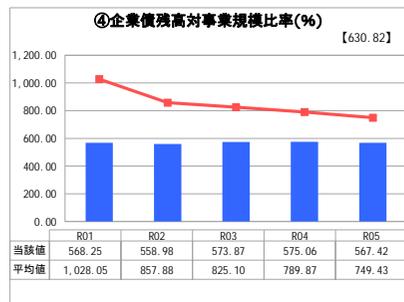
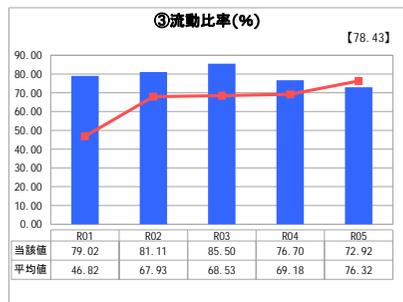
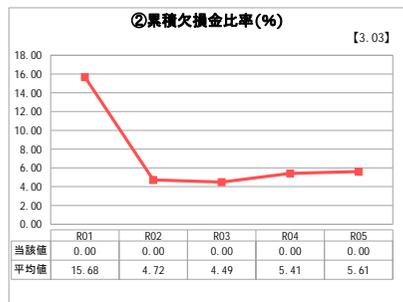
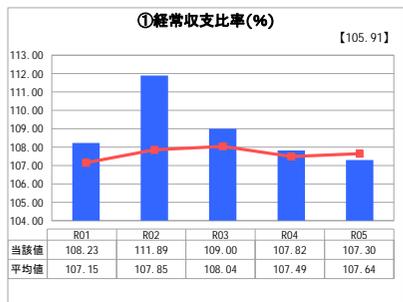
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	54.35	78.78	92.27	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,028	176.51	419.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
58,024	13.43	4,320.48

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

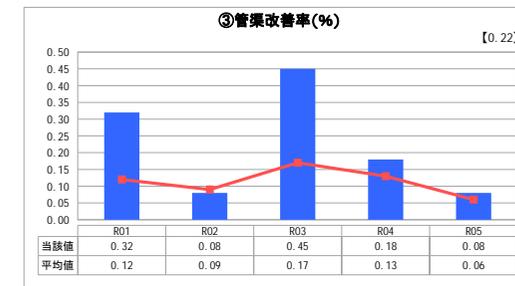
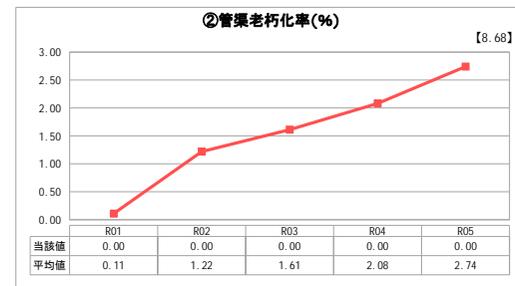
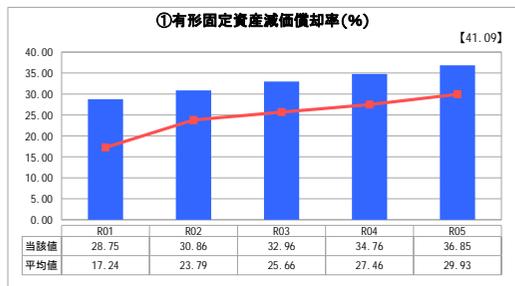
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っているが、類似団体平均をわずかに下回っている。今後も使用料収入が減少すると見込まれることから、当該比率も減少すると予測される。
 ② 累積欠損金は発生していない。
 ③ 流動比率は、100%未満であり、かつ、類似団体平均を下回っている状況である。現金預金等が十分に確保されているとは言えない。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、昨年度から微減しており、類似団体平均よりも下回っており、企業債の償還が進んでいる状態である。
 ⑤ 経費回収率は100%以上であり、類似団体平均より上回っているが、今後の使用料収入減少を見据えた経営が必要である。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均より下回っているが、今後の使用料収入の減少を見据え、維持管理の効率化等の効率的な経営が必要である。
 ⑦ 施設利用率は、計画処理能力の見直しや農業集落排水施設の統廃合を行ったものの、依然として類似団体平均を下回っており、今後も適切な施設規模の検討が必要である。
 ⑧ 水洗化率は、類似団体平均より上回っているが下水道整備は概ね完了しており、今後は大幅な上昇は見込めない状況である。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率をみると、現在法定耐用年数を経過した管渠はないが、有形固定資産減価償却率が上昇していることから、資産の更新改築の必要性が高まっている。
 特に自由が丘・緑が丘地域の開発により受贈した管渠の老朽化が課題であり、ストックマネジメント計画に基づき、更新投資が一時期に集中しないよう、投資の平準化を図っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

類似団体平均と比較すると、高水準の指標が多く、今後人口減少に伴う使用料収入の減少や老朽化対策への更新投資の増加が見込まれること、流動比率が100%未満であり、現金預金等の資金が十分に確保されていないこと等から、将来見込まれる資金不足が生じないよう、より一層健全で効率的な経営を推進していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。